

第 13 回諏訪東京理科大学公立化等検討協議会 会議録（概要）

日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）
午後 3 時～午後 3 時 40 分
場所：諏訪市役所 5 階 大会議室

【出席者】

岡谷市：今井市長、岡本企画課長
 諏訪市：金子市長、前田企画政策課長
 下諏訪町：青木町長、山田総務課長
 富士見町：小林町長、植松総務課長
 原村：五味村長、折井総務課長
 長野県：青木私学・高等教育課長、竹内企画幹兼課長補佐
 神林諏訪地方事務所地域政策課企画振興係主査
 茅野市：柳平市長、樋口副市長、柿澤企画総務部長、小平企画戦略課長
 加賀美大学準備室長、牛山係長、内山係長、金井主事
 大学：（学校法人東京理科大学）森口理事長特別補佐
 （諏訪東京理科大学）河村学長、入江事務部長、牛山次長
 広域連合事務局：宮坂事務局長、林企画総務課長

【公開・非公開の別】

公開

【会議内容】

1 開会

2 会長あいさつ 茅野市長

3 報告事項

- (1) 第 12 回諏訪東京理科大学公立化等検討協議会の会議結果について
 ≪事務局（茅野市）から報告「資料 1」≫

質疑応答

質疑なし

4 協議事項

- (1) 諏訪東京理科大学公立化等検討協議会設置規約の変更について
 ≪事務局（茅野市）から説明「資料 2」≫

質疑応答

質疑なし

- (2) 諏訪東京理科大学の学部学科再編に係る文部科学省への届出について
 ≪事務局（茅野市）から説明「資料 3」≫

質疑応答 文部科学省への届出について

- Q. 平成 30 年度に学校法人東京理科大学から公立大学法人公立諏訪東京理科大学に変わると思うが、平成 29 年度に入学する学生は、2～4 学年をどのようなカリキュラムで学び、どういった形で学位が取れるのか。
- A. 平成 29 年度に入学する学生は、公立化後も入学時のカリキュラムを学んでいく。教員は、公立化前の大学と公立化後の大学を併任するような形になる。平成 30 年度は公立化後の大学のカリキュラムを学ぶ 1 年生と、公立化前の大学のカリキュラムを学ぶ 2～4 年生がいることになる。公立化前に入学した学生に対しては、最後の 1 人が卒業するまで公立化前のカリキュラムを教えていくことになる。

- Q. 平成 29 年度に入学した学生は、学校法人東京理科大学の諏訪東京理科大学に入学することになると思うが、卒業する際の学位等は誰が出すのか。
- A. 新しい大学が変わるので、新しい大学が学生を引き受けていく。学費等も変わることになる。
- Q. 公立化前の学生が在籍する間は、教授は公立化前と公立化後のカリキュラムを2本立てで行っていくということか。
- A. 基本的には公立化前の学生は4年間在籍することになるので、その間は教授もカリキュラムを2本立てで行っていく。
- Q. 経営情報学部はどのようになるのか。
- A. 現在の学部は、学生が在籍する間は残ることになる。
- A. 同じ大学の中で学科の再編を行うこともよくあるが、学生に影響が無いように学生が全員卒業するまで残すことになる。

(会長：茅野市長)

文部科学省へ事前相談で提出した書類もあわせて、4月24日～28日の間に届出書類を提出していく。また、この提出に関しては学校法人東京理科大学が行うということによりよろしくお願いいたします。

(3) 諏訪広域公立大学事務組合に係る専決処分事項について

《事務局（茅野市）から説明「資料4～6」》

質疑応答 ①例規について

質疑なし

(会長：茅野市長)

資料のとおり平成29年4月1日付けで専決処分し、事務を取り扱っていきたいのでよろしくお願いいたします。

質疑応答 ②予算について

質疑なし

(会長：茅野市長)

予算についても資料のとおり暫定予算として執行していきたいのでよろしくお願いいたします。

質疑応答 ③指定金融機関について

質疑なし

(会長：茅野市長)

以上の3点について、平成29年4月1日付けで専決処分していきたいと思う。また、4月1日以降で公告をしていただくことになるので、手続き等に関してご協力をよろしくお願いいたします。

(4) その他

5 その他

(諏訪東京理科大学事務部長)

平成29年度の入試状況について報告させていただく。A方式後期入試の出願を3月13日で締め切り、これにより平成29年度入試の全ての志願者数が確定となった。全体で1,600名の志願者となり、前年度の実志願者数と比較して、2.5倍となった。

(諏訪東京理科大学事務部長)

今回配布させていただいた新公立大学のキービジュアルについて、公立化に向けてこのビジュアルをメインに今後は広報を行っていく。既に、茅野市役所にもポスターを掲示したり、WEB上でもこのビジュアルを使って広報をしている。今月中には茅野駅の看板も変える予定である。

(諏訪東京理科大学学長)

昨日、諏訪清陵高等学校・同附属中学校と高大連携に関する包括協定を締結した。諏訪清陵高校等とは、これまでも大学の教員がSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の運営への支援を行ったり、

高等学校の生徒が大学に来て実際に実験を行ったりしてきた。特に最近、諏訪清陵中学校とも色々な取組をさせていただいている。諏訪清陵高等学校は、この諏訪地域で長い伝統のある学校であり、大学としても地域に学ぶということで、この地域の文化と伝統を教わりたいということで締結に至った。

6 閉会